

製品名: PTP4A2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03169**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 19 kDa; Observed MW: 19 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTP4A2
別名	protein tyrosine phosphatase type IVA; member 2; HH13; OV-1; PRL2; HH7-2; PRL-2; PTP4A; HU-PP-1; PTPCAAX2; ptp-IV1a; ptp-IV1b
遺伝子 ID	8073
SwissProt ID	Q12974
免疫原	ヒト PTP4A2/PRL2 の合成ペプチド

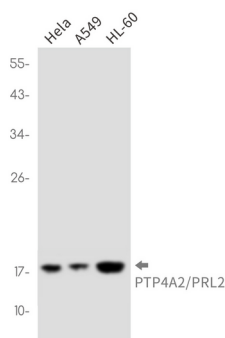
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーの小さなクラスに属します。PTP は、様々な細胞プロセスにおいて調節的な役割を果たす細胞シグナル伝達分子です。このクラスの PTP は、タンパク質チロシンホスファターゼ触媒ドメインと特徴的な C 末端プレニル化モチーフを含みます。この PTP は、C 末端プレニル化を介して、主に細胞膜およびエンドソーム膜と結合することが示されている。この PTP は、Rab ゲラニルゲラニルトランスフェラーゼ II (β GGT II) の β サブユニットと相互作用することが確認されており、GGT II 活性の調節因子として機能する可能性があります。哺乳類細胞におけるこの遺伝子の過剰発現は、形質転換された表現型をもたらす、腫瘍形成における役割を示唆しています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが記載されています。関連する擬似遺伝子は、11 番染色体、12 番染色体、および 17 番染色体上にあります。

研究分野

細胞生物学

画像データ



PTP4A2 抗体を使用した HeLa、A549、HL-60 溶解物中の PTP4A2/PRL2 のウェスタンブロット分析。